

職業能力評価基準(写真館業)レベル区分の考え

レベル	期待人材像	レベル区分の目安			
		写真撮影	写真処理・制作	接客・サービス	経営管理
レベル 4	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様に感動を与えながら、多くのお客様から「感謝・感激」される人材 ・将来を見据えた新しい仕組みや技術を創り出すことができる人材 	業界トップレベルの撮影技術を有し、写真館の名声を高めるような写真撮影を遂行できるレベル(卓越フォトグラファ―)	業界トップレベルの処理・制作技術を有し、写真館の名声を高めるような処理・制作を遂行できるレベル(卓越処理制作スタッフ)	(レベル4は想定せず)	マネジャー(経営職)として、事業計画の策定及び実行管理、営業・販促の企画・統括、財務・経理管理、人事労務管理など写真館経営全体を統括できるレベル
レベル 3	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様を「感動」させることができる人材 ・現在の仕事を完璧に遂行できる人材 	撮影技術に精通し、高い顧客満足を実現する写真撮影を遂行できるレベル(上級フォトグラファ―) 〔概ね技能検定1級相当〕	処理・制作技術に精通し、高い顧客満足を実現する処理・制作を遂行できるレベル(上級処理制作スタッフ) 〔概ね技能検定1級相当〕	受付・接客統括者または高度な専門技能を有する着付け・ヘアメイクスタッフとして、高い顧客満足を実現するサービスが提供できるレベル	サブマネジャー(経営補佐職)として、マネジャーを補佐し、写真館経営全般のマネジメントを遂行できるレベル
レベル 2	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様を「満足」させることができる人材 ・独力で主体的に仕事を進めることができる人材 	創意工夫しながら様々な種類の写真撮影を独力で遂行できるレベル(中級フォトグラファ―) 〔概ね技能検定2級相当〕	創意工夫しながら様々な種類の写真処理・制作を独力で遂行できるレベル(中級処理制作スタッフ) 〔概ね技能検定2級相当〕	中堅スタッフ(主任等)として、問題解決を図りながら様々な接客サービス業務を遂行できるレベル	中堅スタッフ(主任等)として、販売・営業企画、イベント企画、マーケティング調査など様々な企画・営業業務を遂行できるレベル
レベル 1	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の「期待」に応えることができる人材 ・基礎的な仕事を確実に遂行できる人材 	上司や先輩の指示・助言を踏まえて定型的な写真撮影を遂行できるレベル(初級フォトグラファ―) 〔概ね技能検定3級相当〕	上司や先輩の指示・助言を踏まえて定型的な写真処理・制作を遂行できるレベル(初級処理制作スタッフ) 〔概ね技能検定3級相当〕	受付担当者として、受付、接客サービス、オフィス業務等の定型業務を遂行できるレベル	(レベル1は想定せず)

写真館業におけるキャリア形成の例

